

火山都市国際会議の豆知識 その五

火山都市国際会議島原大会事務局（☎65-5540）

火山都市国際会議では、研究成果を発表し討論する会議のほかに、開催地の近くにある火山や防災施設などを見学する「巡検」と呼ばれる野外視察研修がスケジュールに組み込まれています。今回はこの聞き慣れない「巡検」について紹介しましょう。

火山めぐりでは、第3回大会が開かれた、ハワイの火山について紹介します。

【巡検実施予定地】

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| ○会議前…11月13日～18日 | ○会議中…11月21日 |
| ・有珠山、駒ヶ岳（北海道） | ・雲仙、島原市内 |
| ・伊豆大島、三宅島（東京都） | |
| ・富士山、箱根（静岡、神奈川、山梨県） | ○会議後…11月24日～28日 |
| ・浅間山、草津白根山（長野、群馬県） | ・雲仙岳 |
| ・鬼界カルデラほか南九州（鹿児島県） | ・桜島、開聞岳（鹿児島県） |
| ・阿蘇山、九重山（熊本、大分県） | ・阿蘇山（熊本県） |
| ・桜島（鹿児島県） | ・富士山宝永噴火300年記念ワークショップ（静岡県） |
| ・島原市の歴史巡り | ・長崎キリシタン遺跡めぐり |
| ・済州島（大韓民国） | |

巡検は、会議開催国の火山を直接参加者に見てもらうもので、会議前に九つ、会議中に一つ、会議後に五つのコースが予定されています。

見学場所は、日本の火山をはじめ、隣国・韓国も予定。また、長崎のキリシタン文化の歴史を題材にした「巡検」など、バラエティに富んだ内容となっています。会議中の巡検は原則全員参加。会議前後の巡検は、それぞれのコースに十人から四十人程度の希望者を募り、日程が重ならない範囲でどこでも選べるようになります。

日本の火山を視察



↑第4回キト大会の巡検

雲仙火山や本市を巡る「巡検」は、会議中の十一月二十一日に実施。仁田峠や垂木台地、千本木などから火山の状況や地層の様子、防災施設などを視察します。

今回紹介した会議中の巡検は、研究者向けに説明内容も専門的なため、残念ながら一般の人は参加することができません。しかし、市内には火山都市国際会議の会場となる雲仙岳災害記念館をはじめ、資料館や防災施設が数多くあります。世界が注目する私たちのまちを皆さんで「巡検」してみるのがいいかもしれませんね。

松島健博士と行く

世界の火山めぐり

(五) ハワイの活火山

米国・ハワイ諸島は北太平洋に浮かぶ火山島群です。ホットスポットと呼ばれる地球深部からのマグマの湧き出しの上を、太平洋プレートが一年に約十センチの速さで北西に動いています。こんなゆっくりに動いた動きでも、七千万年前の火山は太平洋の北西に七千キロも旅をして、いまやカムチャッカ半島沖に沈もうとしています。このプレートの移動で、現在ホットスポットの真上にあるハワイ島が最も新しく、そして活発な火山島になっています。非常に粘性の低い玄武岩の火山なので斜面は緩やかですが、標高は四、二〇五メートル。



→ ハワイ・キラウエア火山

期は山頂に雪が積もります。さらに海底部分からの立ち上がり六千メートルを加えると、エベレスト山よりもずっと高い山になります。

二〇〇三年の第三回火山都市国際会議はハワイ諸島南東端のハワイ島のヒロ市（人口約四万人）。ヒロ市に近いキラウエア火山は一九八三年の噴火から二十年以上も溶岩を噴出し続けており、多くの家屋や道路が溶岩に埋もれています。溶岩が流れる海岸帯は一応、立入禁止にはなっていますが、観光客もよく入り込んでいます。中にはちょっとした火傷を負う人もいます。個人の責任で自然を観察し、そして学ぶというのが米国の方針のようです。

（執筆：松島健九州大学地震火山観測センター助教授・理学博士）